

令和4年度 進路通信12年生版 羅針盤第2号



令和4年5月18日(水)
都立上野高校進路指導部
「自主協調・叡智健康」

1、2年のみなさん、学習時間を増やしましょう！

1・2年生のみなさん、中間考査が近づいてきましたね。定期テストで重要なのは、「今まで学習したことを定着させること」と「自分の弱点を見つけ出す」ことです。これができれば、定期テストもこれから受験する模試の成績も同時にアップしていきます。しっかり計画を立てて、勉強していきましょう。それと同時に、テスト前の学習スケジュールや日常の予習復習の状況も再度振り返って見ましょう。テストが終わったら、次のテストまでに取り組みたいことを考えることも大切です。

授業が終わった後、部活動や行事、友人との交流、SNS、ゲームなどやるのがたくさんあって、時間がいくらあっても足りないと思う人もいるでしょう。そんな中でも時間を見つけて、集中して勉強することが大切です。2年生の7月模試からは、成績による志望校判定も行われます。

1・2年生の皆さんは授業の予習復習や課題を中心とした学習で基礎力を確実にしていきましょう。共通テストは教科書レベルの基礎学力を総合的に判断するテストですし、早慶上理GMARCH大クラスでも合格最低点は得点率で70%位のところがほとんどです。毎日の授業や定期テストで習う基礎学力をいかに身につけていくかが、受験の土台になっていきます。

部活等で忙しく感じる人は、「学校の授業を大切に」「帰宅後の切り替えを早くする」「すき間時間やムダな時間を勉強にあてる」「休日にまとめて勉強する」などを実践してみましょう。

自分の将来の進路を真剣に考え、希望の進路実現に向けて、努力を続けて行くことが大切です。



大学訪問 埼玉大学を訪れて

埼玉大学は、埼玉県のさいたま市にキャンパスを持つ、教養学部・教育学部・経済学部・理学部・工学部の総合大学です。上野高校から毎年合格者を出している(74期生3名、73期生4名)上高生に人気の国公立大です。

【埼玉大学のアピールポイント】

①自然に囲まれた居心地のよいキャンパス！上野高校から意外と近い！

上野高校を出て、JR上野駅から宇都宮線(高崎線)にのり、浦和で乗り換え、北浦和駅まで24分です。北浦和駅西口でバスに乗り換え15分位で埼玉大学に到着しました。緑が豊かでグラウンドも広く、陸上競技場・野球場・サッカー場・テニスコート・ラグビー場などの体育施設が遠くに見え、たくさんの校舎や図書館・研究所が建ち並ぶ恵まれたキャンパスです。道も広々として、ケヤキ並木も美しく、国公立大ならではのすばらしい環境と設備が印象的でした。

②5つの学部が同じキャンパスの総合大学！

全学部が1つのキャンパスにあるので、色々な学部の授業が受けられたり、サークル活動などで様々な学部の友人とも交流できるそうです。

③世界で活躍できるグローバルな人材の育成に力を入れる！

埼玉大学では、教養学部や経済学部などの文系学部を中心に、海外留学・国際交流などのプログラムを充実させています。またすべての学生を対象として、TOEIC受験を必修にした習熟度別クラス編成や留学希望者向け特別クラスの開設、コンピュータを使った英語学習システムなどで世界で活躍できる人材作りを目指しています。また外国人留学生も多く受け入れて、国際的な大学に生まれ変わっています。2020年度にはキャンパスと隣接して、国際学生寮「インターナショナルレジデンス」が新設され、日本人学生と外国人学生がともに生活することで、交流を深めています。現在はコロナで制約がありますが、コロナ後にはより一層国際交流が活発になると予想されます。



④国公立大ならではの学費も安く、少人数教育！

埼玉大学は国公立大なので、各学科の人数が少なく、少人数教育が徹底されています。特に理学部・工学部は、人数の割に設備・施設が充実しており、学費も私立大学に比べて、圧倒的に安く済みます。理系の人は大学院に進む学生が多いので、埼玉大の学費の安さはとても魅力的です。企業と連携した奨学金制度も充実しており、経済的な事情で入学金や授業料の減免や徴収猶予を受けられる制度があるのも国立大学ならではの制度です。

【埼玉大学に合格するには】

①学校推薦型・総合型選抜入試で合格する 学校推薦型入試では各学部学科によって評定平均の条件があり、主に小論文と面接で判定されます。共通テストを課して判定する学科も多いです。教育学部の学校教育課程の音楽・体育・美術専攻では実技試験もあります。総合型選抜入試は、経済学部(共通テスト受験必要)と理学部(生体制御学科)・工学部(情報工学科)で実施されており、専攻分野を自主的に興味を持って探究して、出願条件に合っている人は、おすすめの制度です。

②一般受験で合格する 埼玉大学の一般入試は共通テストを受験する必要があります。学部によって違いがありますが、英語・数学・国語・地歴公民・理科の5教科が必須です。基本パターンは文系が英語・数学IⅡAB・国語に加えて地歴公民から2科目・物理基礎・化学基礎・生物基礎・地学基礎から2科目、理系は英語・数学IⅡAB・国語に加えて地歴公民から1科目・物理・化学・生物・地学から2科目です。

2次試験は学部学科によって設定されます。経済学部の国際プログラム枠入試は、英・国・地歴公民の3教科で出願できるので、私立型の勉強をしている人も狙い目です。2次試験は小論文が課されますが、詳細はホームページで調べてみましょう。

Point

埼玉大学教養学部 K・Sさん(74期)

【効果のあった学習方法】

授業をしっかり受けて定期テストも頑張り、英数国の基礎を定着させました。国公立大や難関私大目標の人は、ただ勉強しないで、集中力と効率に気をつけましょう。模試で失点した教科や分野があったら、すぐに復習すべきです。わからなかったら先生に聞いてください。

○英語：予習は大事です。文法や単語・熟語は学校でもらったものを繰り返しました。英語は配点が高く、学校の勉強中心に完璧にすることを目標にしましたが、英語は勉強しすぎることはありません。埼玉大は、共通テスト重視で、リーディングをメインに勉強していたので、合格点がとれましたが、私立大は苦戦しました。12年のみなさん、英語は最重要科目だということを忘れないでください。英語資格をとらなかったことも後悔しています。英検なら最低2級、できれば準1級を目指しましょう。英語資格を取得していると見なし得点制度を多くの大学で採用しており、入試でとても有利です。

○数学：毎日の復習が大事だと思います。教科書、青チャート、4プロなど問題をじっくり考えて解く習慣をつけましょう。

○国語：現代文は本を読むのが好きなので得意でしたが、得点が安定しない教科なので、古典で得点を安定させました。古典文法や漢文の句法を学校の教材やスタサプで復習したあと、問題集を解いたり、古文単語を暗記することで、実力がつきます。

○世界史：教科書と授業ノート、学校で使っていた問題集を完璧にすることを目標にしました。1問1答というよりも流れを理解しながら、暗記することに努めました。

○理科基礎：授業と定期テストに真面目に取り組んでいたため、基礎は固まっていました。3年生のなってからは、共通テストだけの利用で、あまり時間をかけられなかったため、効率重視で共通テスト向けの問題集のついた参考書で勉強しました。

【受験について】

一般受験を目指して毎日勉強していましたが、学校生活に真面目に取り組む、遅刻もなく成績もよかったため、学校推薦入型試を受けました。指定校推薦や人数制限のある学校推薦型入試は、3年1学期までの欠席日数が10日以内で遅刻・早退の合計数が20回以内というルールがあります。埼玉大学教養学部の推薦は、志望理由書・面接と小論文だけなので、どれだけアピールできるかが勝負です。

例えば、「志望理由がしっかりしている」「探究で、志望する学問分野の本をたくさん読み深く研究している」「英語資格を取っている」「学外のワークショップ等に積極的に参加している」などです。私の場合は、読書好きでしたが、合格できませんでした。

推薦入試に落ちた後は一般受験に気持ちを切り替えました。結果的に埼玉大学に合格しましたが、埼玉大学は共通テスト重視ということで、平均的に勉強して得意科目をつくらなかったことで、私立大学対策や埼玉大の2次試験で苦戦しました。私大や2次試験のために英語・国語・世界史を意識して重点的に勉強し、得意科目にしていれば、私立もMARCHEレベルに合格できたし、埼玉大の2次試験の英語（長文が出る）に苦労しなかったと思います。

【第一志望の決め方】

2年生の内に第一志望の大学や学部学科を決められると理想です。自分の場合は少し遅かったのですが、埼玉大教養学部は入学した後に専攻（「グローバルガバナンス」「現代社会」「哲学歴史」「ヨーロッパ・アメリカ文化」「日本・アジア文化」）を決められるので、

自分に合っていると思いました。

【模試に向けて】

12年の内は「英数国の基礎を固める」「英語の予習や数学の復習の習慣化」が一番大事です。定期テストに加えて模試に目標を定めて、学習習慣を身につけていくと絶対に成績は伸びます！

上野高校12年模試日程

受験済み	スタディサポート	ベネッセ	全員
7月13・14日	校内模試	ベネッセ	全員
11月4日	校内模試	ベネッセ	全員
1月15日	共通テスト同日体験(予定)	共通テストと同問題	全員
1月20日	校内模試	ベネッセ	全員
2月4日	校内推奨模試	河合塾または駿台	特進クラス全員＋希望者
3月下旬	1年スタディサポート 2年到達度テスト	ベネッセ リクルート	全員 全員

1年生のみなさん、「自主協調」の校訓を実行しましょう！

入学して上野高校にそろそろ慣れてきた頃だと思いますが、今は先生、保護者、先輩から様々なアドバイスを受け止め、それを素直に実行していく時です。ただ「言われるから行動する」のも大事ですが、少しずつ自ら考えて行動し、自らをコントロールする力を身につけて欲しいです。このことが、上野高校の校訓の「自主」であり、1人1人異なる自分の進路を考えていく力になります。そして上野高校で磨いた素晴らしい個性を、仲間と共に「協調」していきながら、日々の学校生活に行かして欲しいと思います。このことが受験や進路を設計する大事なカギになります。

2年生のみなさん、志望大学・学部を7月までに考えてみましょう！「探究」のテーマを深めることも大事です。

期末試験終了後の7月13日（水）14日（木）に行われる2年7月進研模試から、志望校の判定ができるようになります。2年生の皆さんは、志望大学・学部・学科を5校程度挙げられるように考えてみましょう！そして、夏休みにはWEBも含めて志望校のオープンキャンパスに是非参加してください。実際に訪問することが一番ですが、WEBなら全国の大学のオープンキャンパスに参加できます。今年卒業した74期生の先輩も茨城大学や金沢大学、高知大学に進学した人がいます。東京以外にも視野を広げると可能性が広がります。

「探究」のテーマは決定しましたか？でたくさん本を読んだり、資料を集めたり、インターネットで調べたりすることで、設定したテーマを深く「探究」することは、知的な好奇心を刺激して、大学での学びにも必ず生かされます。論文作成まで、頑張りましょう！

